

いちご栽培管理 (H30.2.)

(有) 丸 富

1月は曇天が多く、日照不足で地温も低く、生育がやや遅れた。品種によって差はあるが、ダニやウドンコ病が一部で発生した。根張りが悪く枯れや裂果・裂皮、不受精などの生理障害も発生した。

病害対策

遠日点で栄養生長すると、ウドンコ病などが多く発生する。窒素消化と細胞強化を図り、病害対策を行う。
窒素消化と緑化促進に**サンミネーラ 3,000 倍**と**時を越えた贈り物 1,000 倍**を葉面散布する。
発根促進と酸素供給に**G バランス DF 1 kg/10a**と**発根力 1 kg/10a**を1ヶ月に1回灌水する。

着色促進

日照不足時や低温期は光合成が低下し、着色が遅れる。光合成不足の場合は葉面散布で養分を補う。
着色促進に**笑顔 500 倍**(又は**天地の恵み 500 倍**)と**サンミネーラ 10,000 倍**を数回、葉面散布する。

害虫対策

満月頃や高温管理下では害虫は盛んに活動するから、害虫の動向を注意深く観察して、事前に予防する。
害虫対策に**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**バイオアクト TS 2,000 倍**を散布又は防除時に適宜混用する。
日頃から**時を越えた贈り物 200 cc/10a**と**バイオアクト TS 50~70 cc/10a**を5~7日毎に灌水する。

肥大促進

根の先端で吸収されるカリや微量元素は、根が傷むと吸収されにくい。地温や吸収根の状況に応じて、葉や根からカリや微量元素などを補う。養分は施すだけではなく、必要な部位へ転流できるかが大事。
厳寒期の肥大促進に**K-40 1,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を適宜、葉面散布する。
根の働きが良い時の肥大促進に**K-40 250g/10a**と**サンミネーラ 50g/10a**を1ヶ月に2回灌水する。

電照

日長が長くなったら、少しずつ電照を短くする。着色が遅い時や出蕾が悪い時は電照を短くする。
出蕾促進や着色促進に**笑顔 500 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を3~5回連続して葉面散布する。

追肥(液肥)

生育状況、土質、天候によって施用量が異なる。観察して状況に応じて加減する。

天地の恵み(時を越えた贈り物)	200 cc/10a	} 5~7 日毎に灌水する場合 ※生育状況に合わせて増減する。
プロ液肥	3~5 kg/10a	
サンミネーラ	100 cc/10a	
バイオアクト TS	50~70 cc/10a	

※サンミネーラの代わりに、シカアップ 100~150 cc、海藻のエキス 50g、K-40 100g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)